

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
学習指導	<p>中長期重点取組の1 総合学科の特性を生かし生徒一人ひとりの学力の伸長を図ります。</p> <p>(1)学習習慣の確立と学習意欲の向上 ・授業規律の確立と定期考査等の計画的指導 ・課外授業、補修と面談の充実、模試活用。</p> <p>(2)検定や資格取得の奨励</p> <p>(3)授業内容の向上 ・教員間の研究授業や教材の開発</p> <p>(4)学習の場としての図書館の有効利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートによる宿題、予習復習の増加 1年次「産社」基礎学力伸張講座「漢字検定」学習の活用と受験者数の増加 資格取得合格者数横ばい 模試参加者数の維持 研究授業実施教科5教科、授業公開週間 授業での図書館利用180回、のべ人数約2000人。また、図書利用2月末現在で4500冊以上達成。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む姿勢や内容と継続が大切であることを絶えず繰り返して指導していく。特に、計画的な学習には具体的な教材の指示が大切である。 学習状況の改善により、模試参加者数などは維持できているが、試験結果に十分反映されない状況。 進路決定により課外の受験者の減少が顕著。モチベーションの維持への工夫が課題 生徒の進路希望や学力に合わせた積極的な各取り組みを学校全体として徹底する。 図書館利用の取り組みを更に強化する。
進路指導	<p>中長期重点取組の1 総合学科の特性を生かし生徒一人ひとりの進路希望の実現を図ります。</p> <p>(1)進路意識の向上を図る。 ・キャリア学習、個別面談</p> <p>(2)進路情報の提供と活用 ・保護者会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3年間系統だてた社会人講話や分野別説明会の実施 各学年1人あたり複数回の個人面談実施 進路ガイダンス・保護者会等の実施 推薦入試による進学8割を超える。 就職学校推薦内定100%。 進路指導室利用の奨励。 	<ul style="list-style-type: none"> 安易に推薦入試を選ぶ傾向が強い。学習環境を整え、個々の適性を見極めながら意欲を継続させ、より高い目標を達成させる体制が必要。 厳しさを増す就職は、基礎学力・自己表現力の向上と服装指導等の継続が不可欠。 保護者会や学校見学会で進路指導室紹介の充実。 3年間継続した進学指導体制の確立が急務。
生徒指導	<p>中長期重点取組の2 基本的な生活習慣や規範意識の確立を図ります。</p> <p>(1)全職員による基本的な生活習慣の指導 ・服装頭髪指導、登下校指導、交通安全指導</p> <p>中長期重点取組の3 主体的で健康な生活ができる力やものを大切にする心の育成を図ります。</p> <p>(1)定期的保健通信、学習会や文化祭での啓発 (2)環境美化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各指導を日替わり・週替わりで連続実施。普段の頭髪・服装・マナー等の全職員による指導体制 保健通信年間18回発行 健全育成のための学習会の理解度85% 日常の全員清掃実施 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守り物を大切に作る・頭髪服装指導の徹底。 教職員の意識向上、及び生指と学年間の協力体制の強化が課題。特に教員間での共通理解とアンバランスな指導にならないよう注意。 登下校自転車安全指導（二人乗り・傘さし・iPod）についてさらに検討が必要。 保健関係の取り組みは継続。 校外清掃は全員参加の時間確保などで課題が残る。

開かれた学校づくり	<p>中長期重点取組の2・4 保護者や地域との信頼関係の構築を図り、開かれた学校を目指します。</p> <p>(1) 保護者・地域への積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校公開、HPの充実 ・メール配信保護者登録率の向上 <p>(2) 積極的な地域開放の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座『学びのプラザ』の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開週間 春、秋計2回開催 ・中学生対象学校公開 夏秋全3回実施。参加者数延べ1250名以上。参加者の満足度高い(夏季の場合では90%以上)。 ・メール配信登録率85%以上継続。毎月学校行事連絡と緊急時の連絡実施。 ・HP23回更新(1月末) ・『学びのプラザ』4講座、受講者約120名 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介パンフレット『IVY通信』を通して、本校の特徴や状況、前期選抜の実施方法などが周知できた。今後の課題は、内容の刷新。 ・絆ネット(メール配信)で、緊急時の連絡体制整備。今後更なる登録率の向上と定期的な更新が課題。 ・中学生への学校説明会は、夏季は1日2回実施、秋は、時間配分の難しいアトラクションの扱いが課題。 ・公開講座は、内容の刷新と地域への広報が課題。
学校経営品質等	<p>中長期重点取組の4 学校組織の改善と組織力の向上を図ります。</p> <p>(1) 危機対応の強化と安心・安全な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の強化 ・情報管理の強化 <p>(2) より良い組織作り</p> <p>校内分掌等の連携と情報交換、情報収集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の体制等の見直し、各種災害対応訓練の実施。生徒避難訓練。教員訓練。PTAとの合同訓練。 ・情報メディア校内研修会2回実施。 ・各種校内研修会とその他ミーティング実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も防災(減災)体制の強化と各種訓練の取り組みが重要。生徒・職員の意識改革も不可欠。 ・情報機器関連のトラブルやカリキュラムの改定に伴う対応必要。また本校のネットワーク管理は専門知識が必要。管理方法の検討が急務。 ・総合学科になり10年経て、生徒や保護者のニーズ、学校を取り巻く状況も変化している。学校の組織をこれらの変化にいかに対応させていくか課題。

(2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域に向け様々な方法(学校案内、IVY通信、メール配信、HP、市広報)で情報・発信できている。 ・多様なニーズを持つ生徒に対して、進学・就職それぞれ多くの進路情報が伝えられており、多様な進路選択を可能にしている。 ・分掌ごとに部内での役割分担や協力体制が明確で、質的に効果の高い運用ができています。 ・校内の情報設備が整っているため、ネットワークを利用した高度な学校運営が可能である。
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌毎に執務室が分かれているため、互いの業務内容が見えにくい部分があり、他分掌や年次との仕事の連携がはかりにくいことがある。 ・進路実現に向け、上位層の学力引き上げは十分とはいえない。 ・チュータークラスと授業クラスが異なり、クラス作りなどの結束力は弱い。(その代わり部活動が協調性や社会性を習得する重要な場となっている) ・突発的なネットワークのトラブルなど、予期せぬ対応に時間がとられ、校務が停滞することがある。また校内ネットワーク機器の取り扱いについては、専門的な知識が必要で、誰もが出来る仕事ではない。このため、どうしてもその能力を有する担当者に負担が偏る。さらに、この能力を有する人材が、転勤等で減りつつあり、ネットワークの維持・補修、改善が行いにくい状況が生まれつつある。

(3) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関係者評価	

(4) 組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組
<p>今年度、指導指針として明示した「時を守り、場を清め、礼を正す」を様々な取り組みの根幹に据えて、組織力向上に結びつけたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・分掌や年次間の連携をより密に行い、さらなる学校運営の円滑化を図る。また、事務的業務や会議等を改善・精選し、生徒への指導の充実を図る。・生徒の学力身長を目指して、カリキュラムや指導体制の見直しをさらに進め、上位層・下位層の引き上げを重点的に行う。また、情報の共有化により、進路希望の実現をより図る。・分掌内での連携やスムーズな引き継ぎができるように、業務内容のマニュアル作成をさらに進める。・ネットワークやサーバー管理の改善に向けて、早急に検討していく。